

都市再生整備計画 事後評価シート
鳥取駅周辺地区(第2期)

令和3年3月

鳥取県 鳥取市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鳥取県		市町村名	鳥取市		地区名	鳥取駅周辺地区(第2期)			面積	151.0ha																																																																																																																														
交付期間	平成29年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	708百万円	国費率	0.4																																																																																																																																
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		<table border="1"> <tr> <th colspan="12">事業名</th> </tr> <tr> <td>基幹事業</td> <td colspan="11">幸町棒鼻公園整備事業、緑化施設等整備事業、地域交流センター整備事業</td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td colspan="11">事業効果分析</td> </tr> <tr> <td colspan="3">事業名</td> <td colspan="3">削除/追加の理由</td> <td colspan="6">削除/追加による目標、指標、数値目標への影響</td> </tr> <tr> <td>当初計画から削除した事業</td> <td>基幹事業</td> <td>なし</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td colspan="2">地域交流センター喫茶等整備事業</td> <td colspan="3">令和元年度に計画変更して、関連事業へ移行</td> <td colspan="6">影響なし</td> </tr> <tr> <td>新たに追加した事業</td> <td>基幹事業</td> <td>なし</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td colspan="2">100円循環バス実証実験</td> <td colspan="3">中心市街地における交通利便性の向上を図るため事業追加</td> <td colspan="6">指標及び数値目標は据え置く</td> </tr> <tr> <td>交付期間の変更</td> <td>当初</td> <td colspan="2">平成29年度～令和2年度</td> <td colspan="2">交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響</td> <td colspan="6">なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変更</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>									事業名												基幹事業	幸町棒鼻公園整備事業、緑化施設等整備事業、地域交流センター整備事業											提案事業	事業効果分析											事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						当初計画から削除した事業	基幹事業	なし													提案事業	地域交流センター喫茶等整備事業		令和元年度に計画変更して、関連事業へ移行			影響なし						新たに追加した事業	基幹事業	なし													提案事業	100円循環バス実証実験		中心市街地における交通利便性の向上を図るため事業追加			指標及び数値目標は据え置く						交付期間の変更	当初	平成29年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							変更										
	事業名																																																																																																																																								
	基幹事業	幸町棒鼻公園整備事業、緑化施設等整備事業、地域交流センター整備事業																																																																																																																																							
	提案事業	事業効果分析																																																																																																																																							
	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																																																																																																																																		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし																																																																																																																																						
提案事業	地域交流センター喫茶等整備事業		令和元年度に計画変更して、関連事業へ移行			影響なし																																																																																																																																			
新たに追加した事業	基幹事業	なし																																																																																																																																							
提案事業	100円循環バス実証実験		中心市街地における交通利便性の向上を図るため事業追加			指標及び数値目標は据え置く																																																																																																																																			
交付期間の変更	当初	平成29年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし																																																																																																																																			
	変更																																																																																																																																								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ																																																																																																																													
							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期																																																																																																																													
	指標1	歩行者交通量(平日)	人	52,694	H27	55,300	R2	-	44,364	×	あり なし ●	今回の調査日は悪天候(雨、平均気温が11℃)であったことから人出が大幅に減少したと推定される。また、本庁舎の移転に伴い駅北側の交通量が減少したものと推定される。	令和4年3月																																																																																																																												
	指標2	災害時の防災・避難体制満足度	%	40.8	H26	45	R1	-	42	△	あり なし ●	目標に達しなかったものの、防災拠点となる市役所本庁舎や幸町棒鼻公園の整備により、災害時の防災・避難体制の満足度の向上に貢献している。	令和6年度																																																																																																																												
指標3	区域内人口	人	10,641	H27	11,000	R2	-	10,495	×	あり なし ●	少子化の影響や世帯規模の縮小から地区内の居住人口は減少しているが、市全体の減少率に比べ比較的小さいことから、一定の評価はできる。	令和4年3月																																																																																																																													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	歩行者交通量(休日)	人	44,477	H27	/	-	52,921	/	/	100円循環バスの運行経路の変更や歩道整備などによる歩行環境の改善、商店街にぎわい形成促進事業等が相互に作用し、歩行者交通量の増加に貢献している。	-																																																																																																																													
	その他の数値指標2	区域内の増加世帯数	世帯	0	H27	/	-	38	/	/	中心市街地の居住に関する情報提供等により、居住に対する関心が高まり、居住世帯は必ずしも減少してはいない。	-																																																																																																																													
4)定性的な効果発現状況	-																																																																																																																																								
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等																																																																																																																													
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																																																																																																																						
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																																																																																																																						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																																																																																																																						

様式2-2 地区の概要

鳥取駅周辺地区(第2期)(鳥取県鳥取市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標: まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成 目標1: 鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出 目標2: 災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成 目標3: 安全・安心、快適性の向上による都心回帰の推進	歩行者交通量(平日)	単位: 人	52,694 H27	55,300	R2	44,364 R1
	災害時の防災・避難体制満足度	単位: %	41 H26	45	R1	42 R1
	区域内人口	単位: 人	10,641 H27	11,000	R2	10,495 R1
まちの課題の変化	市の玄関口・市街地の核として、にぎわいと活気のある都心核形成の推進→地域交流センターの整備やにぎわい空間が創出されたこと、その他関連事業の実施などから、鳥取駅周辺は市街地の核となっている。 1期計画の来街者増加、回遊性向上、居住者増加→鳥取駅から新本庁舎への100円循環バスの運行経路の変更や新本庁舎周りの市道整備により歩行者動線が確保されたことなどから、来街者の増加や居住者の利便性が高まるとともに、回遊性の向上につながった。中心市街地の居住に関する情報提供等により、居住に対する関心が高まり居住世帯が増加していると推定される。 公共施設の計画的な更新や機能集約、効率的な維持管理→新本庁舎の建設や地域交流センターの整備により、市民サービス機能や地域交流機能が強化された。保健所と保健センターの機能を一体化した駅南庁舎は、健康づくりと子育て支援の総合拠点となっている。 全市的な防災体制の強化→新本庁舎は災害対策本部を中心とし災害時に迅速かつ継続的に市民の生活を守る拠点として防災体制が強化された。特に、免震構造、敷地の嵩上げ、電源や空調機械の屋上配置、多目的スペース、備蓄倉庫など、災害時においても事業継続可能な機能を確保している。 災害時に避難場所となる幸町棒鼻公園や災害活動拠点となる駐車場、緑が身近に感じられ歩いて楽しい屋外のオープンスペースなどが確保された。					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	市民交流施設の活用促進: パレットとっとり、麒麟スクエアを拠点として活動する市民団体の主体的な取り組みの支援をしていく。 回遊性の向上: 賑わいを創出する各種イベントを今後も継続的に実施していく。 定住化の促進: 居住人口の減少を抑制し、幅広い世代・多様な居住の提供を図るため、空き家や未利用地の利用を促進する。 来街者の増加: 新規開業の促進や既存個店の経営強化による魅力の創出、公共交通機関やまち歩き等と連携した情報発信により、来街者の増加を促す。 地域防災力の向上: 防災学習や訓練を通じて、情報取得方法や避難経路の安全確認など、安全安心を自ら感じられるよう市民の防災意識の高揚を促す。また、消防ポンプや格納庫の整備、各種防災組織との連携を図り、防災体制の充実・強化を図る。					